

3

健康・福祉の充実に向けた取り組み（令和3年度案）



経営課題2 人と人がつながり、助け合うまちづくり

いきいきと健康に暮らせる福祉のまちづくり

めざすべき将来像（10～20年を念頭に設定）

- ・地域に福祉の身近な相談窓口があり、地域住民がお互いに見守り活動を行うことにより、**安心して生活できる状態**
- ・区民がいきいきと**健康で生活**することができる状態

具体的取組 2-2-1 地域福祉コーディネーターによる福祉相談の充実や見守り体制の強化

令和3年度予算額 10,869千円

計画

- ・地域の身近な相談窓口、関係機関とのつなぎ役や制度の狭間に埋もれている人を発見する機能のほか、地域の見守り活動の中心となり、「要援護者の見守りネットワーク強化事業」の名簿を活用し、見守りの体制を強化する。

内容

- ・ **地域福祉コーディネーターによる相談・訪問**
区内9地域の福祉会館等を活動拠点とする10名（東都島2名）の地域福祉コーディネーターにより、身近な相談窓口として福祉サービス等に関する相談や自宅訪問など見守り活動を行う。



（参考）地域福祉コーディネーターによる相談や自宅訪問

- ・ **要援護者名簿の活用による見守り体制強化**

高齢者や障がい者の方々に、個人情報地域の提供について同意確認を行ったうえで作成した「要援護者名簿」を活用し、個別訪問等により要援護世帯を把握する。

専門的な支援が必要な要援護者を関係機関等につなげるなど、地域の見守りの調整役となって見守り体制を強化する。